

公会計化の導入経費は

新政会
松下 嘉城



尾崎理事 業務内容が未定である



▲みんなで楽しい給食準備

ごみ収集時間の解決策は

問 学校給食費は、半世紀以上前の文部省の通達が根拠となり、私会計が続いている。全国的には公会計化を進める動きがある。システム導入の経費はどれくらいか。
答 給食費以外にも修学旅行の積み立てや教材費などがある。全ての徴収を行政側で管理するのか、給食費のみを公会計化にするのかで業務が変わる。それが未定で経費の算出ができない。

子育て支援パスポートは

問 子育て支援パスポート取得について、子育て世帯に広報を行うなど、社会全体で子育てを応援する意識の醸成を図っていく。
答 子育て支援パスポートは、社会全体で子育てを応援する事業であるが、本町としてどのように関わるのか。
答 子育て支援パスポート取得について、子育て世帯に広報を行うなど、社会全体で子育てを応援する意識の醸成を図っていく。

ごみ減量の進捗は

問 高砂の広域ごみ処理施設が稼働すると、収集時間に遅れが生じるが、解決策は研究済みなのか。
答 できる限り現状を維持できるように研究する。
問 現状を維持したい。
答 高砂の広域ごみ処理施設が稼働すると、収集時間に遅れが生じるが、解決策は研究済みなのか。
答 できる限り現状を維持できるように研究する。

子育て支援パスポートは

問 目標量まであとわずか。
答 平成28年度末の可燃ごみ排出量の進捗は、平成33年度末の排出目標量まで、あと約0.3%減量の状況である。

ごみ処理広域化への課題は

新政会
河野 照代



山口理事 課題は検討中



▲正職員により引き継がれてきた的確な業務

問 本町は2市2町による広域ごみ処理施設用地を高砂市に決定し、平成34年4月の稼働に向けて取り組みが進んでいる。町長は、ごみ処理広域化後も住民への対応等は従来通りであり、住民の利便性は損なわないと発言した。
答 高砂市へのごみ運搬所要時間は現行と比較して、かなりの時間数が必要となるのでは。
答 現行の生ごみ収集は一回あたり約一時間を要する。その後、プラスチック容器類、その他のごみなどの収集を行っている。

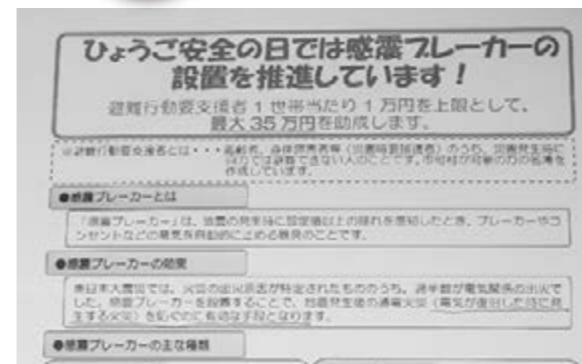
広域化後の収集方法も検討中で、可能な限り短時間での収集を研究していく。
問 本町は路上等を利用のごみステーションも多く長時間、生ごみの放置は臭気も発生し、衛生上の問題も危惧される。午前中の収集は可能か。
答 広域化後の収集方法の検討を行う中で、臭気及び汚水対策についても考慮する。
問 広域化の頃には、正職員も高齢化し、一部定年退職を迎える。現在の職員はルールに則した的確な収集をし、手入れの行き届いた収集車の運行、ほぼ正確な収集時間等はこれまでの正職員から継承された結果と考える。広域化後、一部委託化を視野に入れているようだが、これらが維持可能かを確認する。
答 収集体制などは現在検討中である。非正規職員が増加してもルール順守や作業の正確性は徹底する。

要支援者に安心を

公明党
木村 晴恵



町長 県の補助利用で普及啓発



▲兵庫安全の日推進事業

問 障がい者や一人住まいの要支援者宅の状況把握の中で、地震発生後の火災発生を防ぐ感震ブレイカー設置や家具固定の助成制度の利用を進めべきである。
答 ブレイカー設置や家具固定は、生命や財産を守るのに有効と考えている。作動時に照明確保の対策を考慮した上で、設置が必要であり、個別計画の策定と併せて普及を考慮し、県の補助制度利用を啓発していく。

プログラミング教育の取り組みは

問 平成32年度からのプログラミング教育に対応する本町の取り組みは。
答 未来の社会変化に柔軟かつ主体的な力を育むためにも推進していく必要がある。総合的な学習の時間などを活用してプログラミング的思考を育成する。実施は教育課程全体を見渡し、検討していく。

和平米との交流再開は

町長 友好都市の状況把握を
問 中国天津市和平米と友好関係を結んでいるが、交流は途絶えている。天津市と交流を持続している神戸市と連携して、回復を図っては。
答 毎年、年賀状などを送付しているが、返事がない状況である。和平米の状況把握に努めていく。

平成28年度政務活動費の決算報告

政務活動費は、同じような考えを持つ議員たちで構成する会派に対し、半期ごとに所属議員1人当たり月額1万円が交付され、その用途は行財政に関する調査研究費、講演会参加などの研修費、会議費、そして図書購入などの資料購入費に限っています。収支報告書への領収書の添付も義務付けられています。平成28年度は168万円交付し、67万2027円の返還がありました。

会派別の用途など

(単位：円)

会派	議員名	交付額 (収入額)	支出額					返還額	主な支出内容
			調査研究費	研修費	会議費	資料購入費	計		
公明党	◎木村晴恵、大瀧金三	240,000	98,960	0	0	0	98,960	141,040	先進地調査(10月)
新政会	◎奥田俊則、神吉史久、河野照代、藤田博、松下嘉城	600,000	122,250	55,550	0	20,665	198,465	401,535	先進地調査(11月) 研修会参加(11月) 書籍購入
政風会	◎岡田千賀子、藤原秀策、宮宅良	360,000	98,960	78,996	0	114,088	292,044	67,956	先進地調査(10月) 研修会参加(10,2月) 書籍購入
日本共産党	◎田中久子、松岡光子	240,000	98,960	131,540	0	52,360	282,860	0	先進地調査(10月) 研修会参加(5,2月) 書籍購入
無所属	◎小原健一	120,000	49,480	67,032	0	3,672	120,184	0	先進地調査(10月) 研修会参加(8,10,11月) 書籍購入
無所属	◎山本雅之	120,000	49,480	0	0	9,024	58,504	61,496	先進地調査(10月) 書籍購入

◎=代表者 ※平成28年度中の議員(代表者を含む)表記しています。※無所属議員も交付対象です。
※支出額の計が交付額を超過する場合は、交付額を上限としています。